

平成 29 年度事業計画書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

近年、多くの業種で人手不足が慢性化し、深刻な問題となっている。林業においても雇用の確保がより一層厳しい状況になっているが、林業労働者の確保は、公益的機能を持つ森林の適切な管理のみならず山村地域の振興のためにも重要である。

さて、当財団は島根県内の林業労働力の確保及び育成を目的とした助成事業を行っている。事業実施にあたって作成した中期事業計画（平成 27～29 年度）では、新規雇用の確保が容易ではないなか、従事者の定着化を図ることに注力し、「人材育成」及び「雇用環境改善」の助成事業に取り組んでいる。

「人材育成」及び「雇用環境改善」のそれぞれの目的は、定着化を図るために生産性と安全性についての専門的な知識と技術を身につけさせ、現場技術者としてのキャリア形成を支援すること、待遇等の就労条件整備や労働災害防止のための職場環境の改善を支援することにある。

平成 29 年度は中期事業計画の最終年度であり、次期中期事業計画を作成することになる。激変する労働環境を踏まえ、現行事業の進捗状況や財源等を総括し、林業労働力の確保及び育成のために必要な対策を講じていかなければならない。

当年度の事業ごとの計画は次のとおりである。

1. 人材育成

(1) 新規就業者育成事業（予算 6,000 千円）

林業事業体等が雇用した新規就業者に対し、あらかじめ計画した人材養成プログラムに従い、森林整備に必要な技術や知識を早期に付与するための実践研修を実施する場合、その林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

(2) キャリアアップ推進事業（予算 4,000 千円）

林業事業体等が雇用する現場技術者に対し、木材生産等の林業に必要な資格を計画的に取得させる場合、その林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

(3) 木材生産技術者養成事業（予算 1,400 千円）

県内の林業事業体等に雇用される現場技術者に対し、林業架線作業技術者の養成講習会等を開催する林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

(4) オペレーター養成研修事業（予算 3,700 千円）

①高性能林業機械研修（3,200 千円）

県内の林業事業体等に雇用される現場技術者に対し、森林の公益機能の発揮に配慮した効率的な作業システムが実現できる高性能林業機械の活用手法とその操作技術を習得するための研修会を開催する林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

②山の道づくり研修（500 千円）

県内の林業事業体等に雇用される現場技術者に対し、木材の生産性を高めるための路網設計・施工に関する研修会を開催する林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

2. 労働安全

（5）労働安全管理事業（予算 15,800 千円）

①労働安全研修（500 千円）

県内の林業事業体等に雇用される現場技術者に対し、労働災害の予防を目的とした現場作業を安全に遂行するための手順の習得や能力向上等の研修会を開催する林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

②安全巡回指導（500 千円）

県内の林業事業体等を対象に労働安全衛生に関する巡回指導を実施するために必要な経費を助成する。

③安全装備品助成（10,000 千円）

県内の林業事業体等に雇用される現場技術者に対し、労働災害の予防を目的とした林業労働のための安全装備品を支給する林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

④ハチアレルギー対策支援事業（4,800 千円）

県内の林業事業体に雇用される現場技術者に対し、労働災害の予防を目的としたハチアレルギー対策（ハチ毒抗検査及びアナフィラキシー補助治療剤処方）に取り組む林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

3. 労働条件改善

（6）就労条件整備事業（予算 29,000 千円）

林業事業体等が雇用した現場技術者の就労条件の改善をめざし、社会保険や退職金共済等に参加した場合、その林業事業体等を対象に事業主負担相当額を助成する。